



# 関中央ロータリークラブ

## 2016-2017 WEEKLY REPORT



**例会日** 毎週木曜日 18時30分

**例会場** 関観光ホテル（関市池尻91-2）

**事務局** 関市西本郷通5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

**会長**:石原 妙生 **副会長**:川村 紳一 **幹事**:波多野 篤志 **クラブ会報委員長**:吉田 和也

2016~2017年  
国際ロータリー会長  
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016~2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト  
・真実かどうか  
・みんなに公平か  
・好意と友好を深めるか  
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1876回例会 2016年10月27日（木）

C. A 地区大会報告 / 担当 会長・幹事

### 前例会の記録

第1875回 2016年10月13日（木）

インターアクト年次大会・地区協議会の報告

/ 担当 インターアクト委員会

\*国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング「我等の生業」斉唱

\*四つのテスト唱和

R情報委員会 伊佐地金嗣委員長

\*お客様紹介

関商工高校 IAC顧問 佐賀あゆみ先生

〃 IAC2年 長谷部 安美さん

〃 〃 佐藤 穂乃香さん

〃 〃 酒向 穂乃香さん

\*会長あいさつ 石原妙生会長

10月3日、日本人で25人目のノーベル賞受賞者が決定しました。

大隅良典・東京工業大学栄誉教授が研究された、細胞内のたんぱく質を分解する現象「オートファジー（自食作用）」と呼ばれる仕組みを解明したことが認められ受賞されました。これは癌の治療薬の開発にもかかわるそうで、今後を期待したいです。



本日10月13日は「サツマイモ」の日です。

「栗（九里）より（四里）うまい十三里（9+4=13）」とは、サツマイモの異名（いみょう）で、江戸から十三里（約52km）離れた所にある埼玉県川越のサツマイモが美味しかったことから生まれた言葉です。

そこから川越市の市民グループが旬である10月にこの記念日を制定したそうです。石焼き芋はじっくり焼くことでデンプンが糖に変わり甘くなるそうです。

さて今日は卓球の話をしたと思います。

少し前ですがリオのオリンピックでは日本の男子も女子もすごく頑張りました。中でも、男子の水谷選手が中国の選手との試合で見せたラリーは見ごたえがあり、最後まであきらめない気持ちや、戦いぶりには感動しました。

私が知らなかっただけなのか、以前からの卓球のイメージがガラッと変わった気がします。よく言う「ピンポン」なんて言葉はもう当てはまらない競技ですね。

又、パラリンピックでは、エジプトの両腕が無い選手が出ていて、ラケットを口にくわえてのプレーで、サーブを打つ時は足でトスを上げプレーをしました。彼は10才の時に列車事故で両腕を失いましたが、元来

スポーツが好きでいろいろ試したそうですが、両腕が無くバランスが悪いことから、体の接触の無い卓球を選んだそうです。

その選手は記者のインタビューで、20年以上も「これでやってるんだ、大変なことなんて一つもないよ」と言い、「目標は勝利だけじゃない。不可能なことは無いと伝えたい」と力強く語ったそうです。

何もしないうちから諦めることはしたくないし、可能性がある限り挑戦する気持ちを持っていたいものです。

卓球の競技に必要なものとして、卓球台はすごく重要です。ここからは台についての話をします。リオのオリンピックに使用された卓球台は日本製で「三英」という会社が作ったものです。

天板の色はレジュブルー（青い瞳）と名付けた、青と緑の中間色にしたそうです。従来は青色ですが、ブラジルの国旗の緑のイメージを採用し、生命を連想させる緑で東日本大震災からの復興への願いも込めて決めたそうです。

今回のオリンピックに40台以上使用されました。

又、台の品質については、天板の反発力の均一性が強みで、どこにボールが当たっても均一なバウンドになることが大切で、一般普及品では小さい木片を固めて成型した木質ボード（パーティクルボード）を利用しているが、内部に隙間ができて反発力に差が出ることから、今回使用は最高級で13枚の薄い板を木目が直角になる様に重ね、隙間を無くすものでスーパープライコア天板と呼ばれているものです。

4年後の東京大会をめざし、選手も頑張ってもらいたいです。台を作る方でもより進化させた技術で良い台を作ってもらいたいです。

関商工の卓球部も全国大会へ出場するほど強くなっています。近い将来水谷選手と試合をするような選手が出てくることを期待しています。

本日は卓球の話をしました。

#### \*インターアクト年次大会・協議会の報告

##### 関商工高校 IAC顧問

佐賀あゆみ先生

今年8月に三重県の津でインターアクト年次大会に参加させていただきました



ました。その時の感想を申し上げます。色々な学校が集まっておりまして今年は韓国の交流の学生さんもうらっしゃいました。そういった面で生徒は最初人数が多すぎて戸惑っておりました。さらにグループ分けをされ、ゲーム形式の活動があるということで各学校一人ずつバラバラになってしまいますので生徒はすごく心配しておりました。しかし、さすが若いというのは素晴らしいと思いました。打ち解けるのが早くて、私たちぐらいの大人になると肩書とかいろいろ気になってしまってなかなか交流できない面がありますが、同じ年代ということもあり片言の英語で話したり、写真をいっぱいとったりということで楽しんでおりました。そういう面でも参加させていただいてよかったと思います。

#### \*インターアクト委員会

古田博文委員長



インターアクトクラブは、世界で110ヶ国8700クラブ20万人の青少年が活動しています。次世代を担う青少年の育成を目的に国際ロータリーが推進しています。

岐阜県で20校、三重県で37校が活動しています。関商工高校は1986年4月27日に発会しました。岐阜県では8番目です。昨年2015年8月15、16日関市文化会館にて何十年に一回の年次大会を主管しました。今回は8月7日（日）一日の予定で、三重県セントヨゼフ女子学園高校のホストで津市で行われ、関商工から佐賀先生はじめ学生9名、我がクラブからは石原会長、波多野幹事、私、古田の3名が参加致しました。

例年、一泊二日で行われる大会を一日で済ませるといふ大会は一体どういう大会になるのか興味がありました。一口で言えばよく練られたおもしろくすばらしい大会でした。ホスト校は津市にあるセントヨゼフ女子高校で女子校らしい細やかな所まで考えられたプログラムでした。

関市のような大きな文化会館ではなく、ホテルの大ホールを会場として使われました。学生400名、ロータリー関係者100名、韓国学生30名を一度に入れる会場はこじんまりとしています。食事は二交替制、その間をうまく利用したアトラクションなどは真に女子校生らしいところでした。

ハンドベルの演奏、合唱部のコーラス、各高校の学生をミックスグループにしたクイズ大会など面白いものでした。

特にグループには韓国学生を一人ずつ配置し、交流を深める意図がありました。後半の伊藤聡子氏の講演は自身の経験による体験談で説得力があり、興味があるものでした。

その中でのこと。勉強したい時の勉強程おもしろいものはないこと。地方が元気でないと国の未来はないこと。どんなことでも興味を持つことなどが大切であると語っておられました。

#### \* 関商工高校 IAC2年

長谷部 安美さん

8月7日

#### インターアクト年次大会報告

去年私たち関商工がホスト校であった年次大会で体験したこととはまた違う、セントヨゼフ高校さんならではの雰囲気味わえた1日でした。去年できなかった国際交流を今年は体験することができたのが一番の思い出です。韓国の皆さんのアトラクションでは、応援したくなるようなダンスを、かわいらしくかっこいい感じで踊ってくれ、見ている私も盛り上げたりできて楽しかったです。ユーモアあふれる方たちばかりで、シャイな人が多い私たち日本人との違いを感じました。ホスト校であるセントヨゼフ高校のハンドベル部の演奏は、きれいな音色やほっこりするような曲で、大変すばらしかったです。今までハンドベルの演奏を聞いたことがなく、初めてのことをインターアクトで経験でき、とても良かったです。E E C部の発表は、劇を英語でされていて、驚きの連続と共に、発音がすばらしくてかっこよく、感動しました。

ホテルでの昼食はとても豪華で、どの料理も美味しかったです。立食は初めてで驚きましたが、とてもリッチな時間を楽しめました。

フリーキャスターの伊藤さんは、ご自身の色々な悲しい過去や、楽しい経験を話されました。夢を叶えるためには、今を一生懸命に頑張れば過去に何があるかと関係ないと聞いて、今ある夢を一途に頑張ろうと思えました。インターアクトで人生について、そして絆について学ぶことができ、いい体験をすることができま



した。

#### 10月8日 地区協議会報告

各学校の活動報告を聞き、地域との関わりを大切にしている姿勢や思いが感じられるものでした。さまざまな活動内容を知ることで、今後の活動にも生かされる取り組みを考えていきたいと思いました。

韓国派遣報告では、実際に行った人の体験を聞き、語学力の高まりや日本と韓国の文化の違いなど、私が体験したことのない内容でした。友達が増えたり、観光ができたりと、とても楽しそうな写真と共に話され、うらやましい気持ちになりました。とても内容の深い報告でした。

留学生のスピーチでは、オーストラリア人とカナダ人の方が日本のことについて話されました。私たち日本人が気づかない当たり前のことでも、他の国の人たちにとっては驚きだったり感動だったり、日本のすばらしさを改めて感じました。一生懸命日本語で話す姿には、見ている私も励まされました。

地区協議会に参加して、更にインターアクトのすばらしさを実感することができました。これからもインターアクトの活動に積極的に参加し、周りに広められる活動を行って行きたいです。

#### \* 関商工高校 IAC2年

酒向 穂乃香さん

私は三重で開催されたインターアクト年次大会に参加しました。前回参加させてもらった時よりも、他の高校生と交流することが多くすごく楽しめました。韓国人の方と交流することができ、今まで習ってきた英語の実力を試すことができましたが、片言でしか話せなく実力不足を感じました。パフォーマンスしてくれた部活動も関商工にはない部活ばかりで圧倒されました。

フリーキャスターの伊藤さんのお話を聞きましたが、過去にいじめられたが、自分の夢を持って突き進んでいけば成功するという話をされて、自分も人生に希望を持って頑張っていきたいと思いました。

#### \* 関商工高校 IAC2年

佐藤 穂乃香さん

私は地区協議会に参加させていただきました。自分たちとは違う他校



の活動内容を知ることができました。どの高校も国際交流や地域との関わりなど人との関わりを大切にしていました。私も台湾の方と交流しましたが、書道を教える内容で、英語の語学力が足りなかったため、ジェスチャーなどで伝えました。周りの助けもあり成功できたと思います。地区協議会や参加させて頂いた活動で学んだことを今後のインターアクトでの活動で生かしていきたいと思います。

#### **\*出席委員会**

会員数31名、本日の出席22名です。

#### **\*メイクアップ報告**

10月3日

第71回東海北陸道グループクラブ対抗親睦ゴルフ会  
高井良祐会員、吉田和也会員、川村紳一会員、山田文夫会員、伊佐地金嗣会員、小川糧司会員、田中静夫会員、長谷川修会員

10月8日岐阜県中・東濃地区インターアクト協議会  
波多野篤志会員、波多野好文会員

#### **\*ニコボックス委員会**

・会長・副会長・幹事

関商工IACの顧問 佐賀先生、IACの皆さん、本日はIA年次大会及び中・東濃協議会の報告よろしくお祈いします。

・古田博文会員

関商工インターアクトクラブ顧問先生はじめメンバーの皆様、本日はよろしくお祈いします。

・吉田和也会員

先日は家内の誕生日に大変おいしい虎屋さんのお菓子を頂き誠にありがとうございました。

22名のご投函ありがとうございました。

#### **\*委員会報告**

##### **親睦活動委員会 高井良祐委員長**

東海北陸道グループクラブ対抗親睦ゴルフの結果は8名参加し、順位は4位でした。当日は雨が降り、ハーフで終わりました。11月30日に練習を兼ねてクラブで親睦ゴルフを行いたいと思いますので、また多数の参加をお願いいたします。

#### **\*幹事報告**

・地区大会について連絡

#### **<次例会の案内>**

第1877回 2016年10月29日(木)

コンテスト発表会 担当：40周年記念実行委員会